

読書ノート

- ・ゲーテ「人間は」 集英社
池内紀著・絵画・挿絵も
桑原武夫 文芸賞受賞

あの文豪ゲーテ。立派な鼻の横顔は浮かんでいても縁のない人だった。オレンジ色の表紙に描かれたゲーテ像は、今治にもいそうなオジさん。フランス革命をほんたつ時代教育によって希有な才能を開花させたゲーテは恋をし、旅をし、石を蒐集し、ワイルド公國の公人でもあった。絵も達者。ちょうど身边に感ぜられた「イタリア紀行」を読んでみたくなった。

- ・ボロニヤ フラッフェア物語 白水社
絵本の町から「さるまで」 市口桂子著

一ボロニヤは、児童書にとって小さいけれど深くて丈夫な鍋のようなものかもしれない! 人口38万人の地方大学都市ボロニヤは、ストーリーを読んだらすぐに十分な火力を持つので、壊れることも吹きこぼれることもない。フラッフェアに引き寄せられて外部からやってきた人々は、そして他の地域には見られないので濃密で居心地のよい児童書を巡る空気に抱かれることになるのだ。

児童書、絵本を中心としたフラッフェアの成り立ちから綿密に書かれていて、町の人の意志や情熱、つながりから熱く感ぜられる。訪ねてみたつい。

- ・原発と建築家 竹内昌義著 学芸出版社
建築家が8人の人にインタビュー。私たちが今考えなければならないことは?

読書が私の消夏法。せせと読んでます。

日照不足で今年のゴーヤはいま一つ

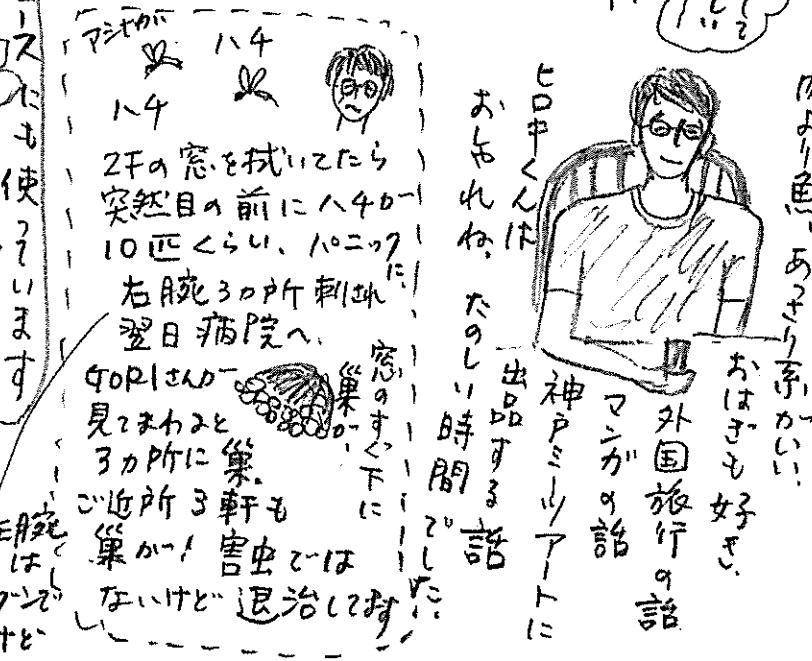
毎朝のG.R.O.R.I.S.S.

朝も使

りま

左腕

はオーブンでやけど



ナスヒトマトの炒いたん(おはんじい風に)
畠のナスと中玉トマトを炒いたらサクハリよ、いしく
この夏たひたひ登場、飽きない味です。

ナス3本、トマト10個くらい(小)
ナス6つかりくらい皮に切り目入れ、アツを取り、
トマトヘタを取返してやし火見り2、水1/2カップをして
1/2切半分に蒸し巻、トマト、花かつおも入れ
味つけはミリン、しょうゆ、
シチウ、ピリ辛
オクラを入れてもおいしい

トマトはよいたしか
まし、肉しゃか
みを汁にも

けやき通信 2014年8月
No.254号

—錦織佳代子—

哲学するゴイサキ 24年ぶりに

8/10

